

字別人口データ

(各年度3月31日現在の、外国人を含まない数字です。)

*高齢化率：65歳以上人口が
集落人口に占める割合
(平成30年3月31日現在)

行政区	平成25年度末人口	平成30年度末人口	高齢化率*
仲村渠	117	104	43.3%
具志川	146	124	47.6%
仲地	243	245	29.8%
山里	123	129	25.6%
上江洲	83	67	31.3%
西銘	278	259	29.0%
久間地	45	42	23.8%
北原	163	149	32.2%
大原	253	242	28.5%
鳥島	441	390	27.2%
仲泊	1,122	1,056	17.3%
大田	293	279	22.9%
兼城	231	226	38.1%
嘉手苅	396	377	43.2%
宇江城	234	206	31.6%
比屋定	108	69	40.6%
上阿嘉	42	32	46.9%
下阿嘉	47	47	29.8%
真謝	567	487	37.4%
宇根	259	224	30.4%
真泊	123	129	26.4%
泊	91	87	34.5%
西奥武	26	22	18.2%
東奥武	0	7	0.0%
謝名堂	432	419	36.0%
比嘉	632	662	17.5%
真我里	215	229	28.4%
銭田	155	132	40.2%
島尻	133	112	44.6%
山城	125	121	33.9%
儀間	798	714	33.9%
宇江城山田原	44	42	0.0%
イーブ	388	376	13.0%



第2回久米島 8500人の

『町民の町民による町民のための島づくり』

夢まっすり

島でずっと
仕事続けられ
るかなあ？

18才までは
島で子育て
したいなあ...

10年後、
島の福祉・医療
どうなるの？

まずは「今」
の久米島を
知ろう！



夢つむぐ島 ―島人みんなで織り上げる未来―

人を惹きつける島

すべての世代が活き活きと暮らせる島

生まれる	安心して「出産」できる島の実現	出産できる島の実現 出産サポートの充実	
	育つ	安心して「子育て」できる島の実現	子育て支援体制の充実 子どもの遊び場の充実 発達障がい児の支援充実 子ども健康プロジェクトの推進
学ぶ		幼児・生徒教育の充実	幼児教育の充実 小中学校教育の充実 高校教育の充実
		生涯教育の充実	文化・社会学習環境の充実 生涯学習体制の充実
働く	連携する産業振興	連携する産業振興体制づくり くらしの立つ農業地域づくり 多面的な漁業の振興 製造業の振興 商業・サービス業の振興	
	働く質の向上	働きやすい職場環境の整備	
暮らす	安心・快適な生活環境づくり	交通の便利な島づくり 安全な水の安定供給 ゴミのない島づくり 環境を守る下水道、し尿処理 安心して暮らせる島づくり 災害に強い島づくり 快適な住環境づくり	
		島人の健康づくり推進	島民の健康づくり推進 スポーツ・レクリエーションの振興
		共に暮らせる島づくり	多様なニーズに応えられる町づくり 福祉の充実
老いる	高齢者福祉の充実	高齢者の生きがいある暮らしづくり 高齢者の健康増進 高齢者が安心して暮らせる島づくり	
次世代の子ども達のために	次世代のための島づくり	新しいビジネスの創出 未来を見据えた人材育成 伝統文化の継承と文化遺産の保護活用 食糧自給率の向上 島の豊かな自然資源の保護・活用 再生可能エネルギーによるエネルギー自給率向上	
		総合計画実現に向けて	連携する総合計画推進 住民にわかりやすく効率的な行財政運営

島を訪れる人たちへ	久米島らしさの醸成	久米島ブランドの確立
	情報発信力の強化	情報化の推進
	交流人口・移住定住人口の増大	交流文化の推進
		観光の振興
	移住定住促進体制の充実	



久米島の人口推移と予測



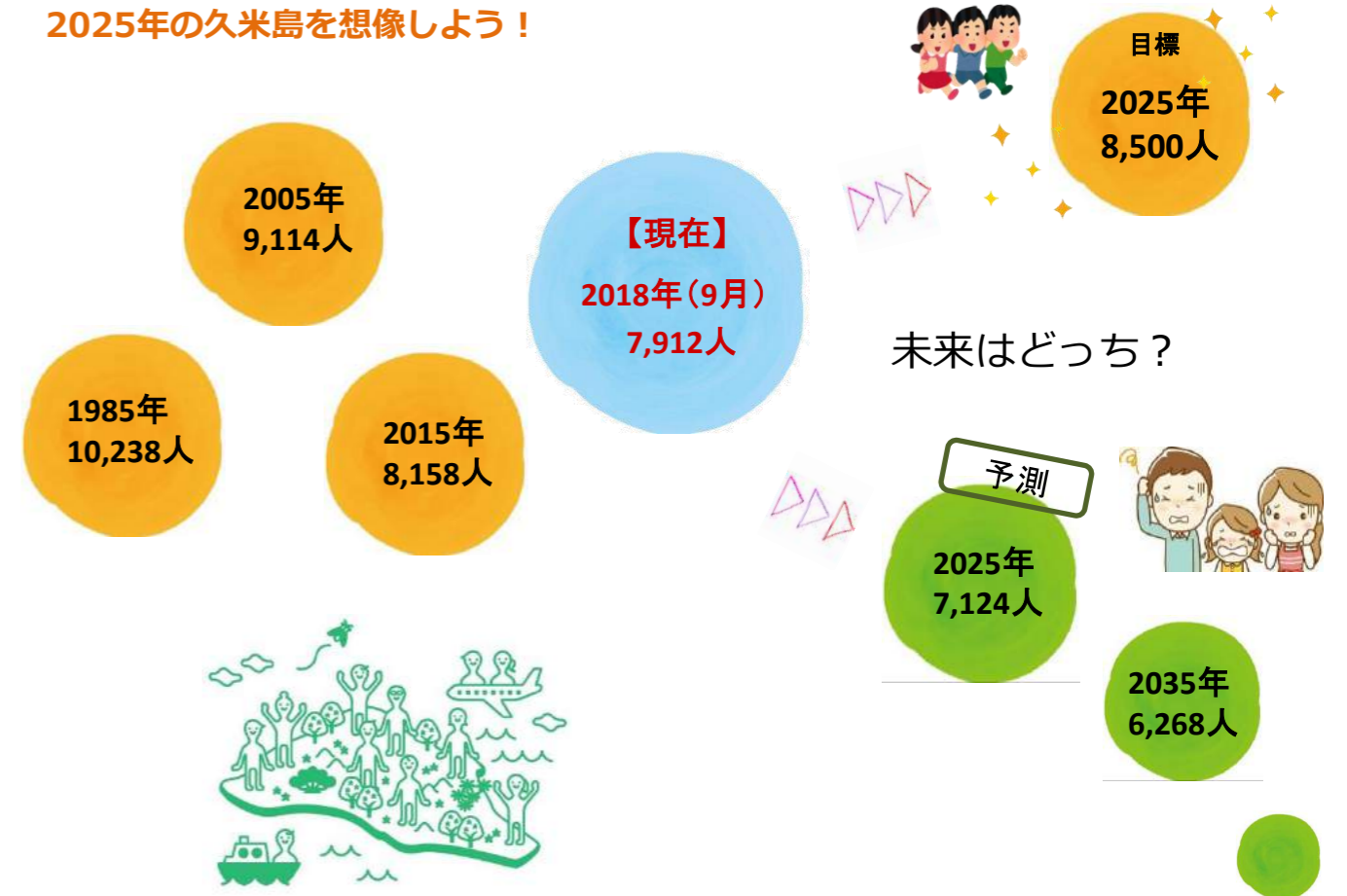
- ◆ 第2次総合計画は、**2016年～2025年の10年間**をかけて久米島町が『**人口8500人規模の活気、環境が整った島づくり**』をするための計画書になります。

今の久米島はどうでしょうか。

そして、久米島の10年後は今と何も変わらない久米島なのでしょうか。10年後の久米島も今と変わらず、子供たちの笑い声が聞こえ、自然美しい豊かな島であって欲しい。

私たちは今、島の全住民で島の未来を考える必要があります。

2025年の久米島を想像しよう！



生まれる



母子手帳・妊婦検診受診の交付

母子手帳の交付時に、妊婦検診の必要性についての説明、啓発を行うとともに、妊婦検診・超音波検査等14回分の受診券の交付を行っている。



役場 福祉課
予算：7,600千円

栄養士による栄養指導等の実施

栄養士による母子手帳発行時の妊婦に対する栄養指導、離乳食学習会の開催や乳児検診等での栄養指導を行う。

役場 福祉課
予算：4,264千円

合計特殊出生率2.31で全国2位を誇る久米島。(2008～2012年市町村別合計出生率より)だが、何らかの理由で「島を出ること」を選択する人が多い。

特定不妊治療にかかる医療費等の助成

高額な医療費がかかる特定不妊治療について、治療費の一部助成を行い、経済負担の軽減を図る。

役場 福祉課
予算：243千円

未熟児の養育にかかる医療費等の補助

未熟児の養育に必要な医療費の補助をすることにより、乳児の健康の保持増進を図る。

役場 福祉課
予算：710千円

出産助成金の交付

出産のために渡航する際の交通費、宿泊費等の負担を軽減する目的で、15万円を交付する。

役場 福祉課
予算：10,500千円

風の帰る森

子供たちが時間を忘れて
ゆったりと過ごす事が出来る場所を



風の帰る森は2015年2月、企画立案者が久米島町役場の紹介のもと銭田森林公園を訪れたことがきっかけに始動したプロジェクト。この公園に決まったのは、鮮やかな森と海、風が四方八方から絡みつくように吹く、唯一無二の場所だからです。

「風は海や大地のいろいろな場所を吹き最後は森に帰ってくる。そのイメージをもとに風の帰る森は、島内外の親子が分け隔てなく自然の中で過ごすことができる場所。訪れた人の記憶に残り、心の拠り所となる場所。子どもが大人になって島を出た時、ふとした瞬間に思い出す場所。そして自然に対する畏敬の念も込められ、与えられた名称です。現在、来春開館（予定）に向けて工事が進んでいます。コンセプトに合わせて、保養を必要とする親子の宿泊、誰でも利用できる飲食、児童書を中心とした図書室などが入ります。

いつの間にか全ての感覚と身体を動かして、時間を忘れて過ごせる場所。

私たちはそんな風景を目指しています。

ドリ一部チャレンジ

くめじまーま

親子のための行事や親が学べる場所、島での妊娠・出産・育児情報が少ないと感じ、自分たちで出来る事とを考え、活動を開始。

妊娠・出産・育児にまつわる学習会やビーチクリーン活動、子育て世代の親御さん向けのイベントを開催している。情報を充実させ、これから子供を産む人のためになる情報の提供や親が学べる環境を作りたい。

第2.第4日曜日 9:30~『くめじまーまのピーチクパーチク!』FMくめじまにて放送中♪

ドリ一部チャレンジ

幼保連携認定こども園の開園

幼児教育と保育を一体的に提供する「幼保連携型認定こども園」を、既存の保育所施設に幼稚園機能部分等を新設する形で設置する。平成30年度は認定こども園の設置に向けて基本計画の策定を行う。

役場 福祉課
予算：12,000千円

子ども医療費の助成

0歳～6歳の通院、中学校卒業までの入院について、支払った費用の一部を助成している。

役場 福祉課
予算：11,628千円



そらぼしアートクラス

小学1年生以上の物作りが好きな子供達が、3ヶ月をかけ、創造的活動(調理・デザイン・製作・発表)を通して、自分で作る楽しさを体験していくクラスです。2018年6月～古民家を改装したアトリエも誕生しています。現役の料理家やデザイナーなど様々な職種の大人達がサポートし、子供達の世界を広げています。学ぶことは、将来に繋がる大切な過程。寄り添いながら、歩む道を照らしていきたいと思っています。



住民活動



子育てカフェ

月に一度「子育てカフェ」として、子育て中の方がお茶を飲みながらおしゃべりする会を開催。島の子育て環境について意見を聞いて関係機関に伝えたり、子育ての悩みを共有・相談できる場を持つことで安心して子育てできる環境づくりを目指してしてきました。現在、他の子育てサークル活動が活発になってきているので、子育てカフェは平成30年中に終了し、今後はそれらのサークルや関係機関につなぐ役割を担っていきます。子育てカフェに来てくださったみなさま、ご協力・応援くださったみなさま、ありがとうございました!

ドリ一部チャレンジ



ふくぎのくる

“自分の子どものいるクラスで 朝の読みきかせをしている” そんな普通のお母さんが集まり、12年程前からグループで活動するようになりました。現在は 幼稚園・小学校や町内のイベントで、読みきかせや人形劇などを行ったり、ラジオでの情報発信もしています。子ども達には 絵本や物語に親しむきっかけ作り。保護者の方には より"子育てが楽しい" と思ってもらえるように。一般の方々には "絵本を通したコミュニケーションの楽しさ" を感じてもらえるような活動をしていきたいと思ひます。

毎週日曜9:00~FMくめじまにて『絵本の森』放送中

住民活動

避難所及び交流拠点施設の整備

災害時は避難所として、通常は地域の交流拠点（図書館、学習及びサークル活動等）として利用するための施設を整備する。平成30年度は、平成31年度の建築工事・平成32年度の供用開始に向けた実施設計等を行う。

役場 建設課 教育課
予算：113,879千円

馬牧場

一家に一頭は馬が居たと言われ、馬産地として栄えた沖縄。島の人々が共に暮らし共に働いてきた在来馬たちに、今の時代に合わせた活躍の場を作ることによって彼らを次世代に残していきたい。そんな想いから島内で馬とふれあえる機会を設けています。

◎小学校での乗馬クラブ（大岳小学校、比屋定小学校）、職業人講話、レクなど

◎子育て支援センター「にじの広場」乗馬会（月に一度、無料。開催日は要問合せ）

◎日曜町民乗馬会（毎週日曜16:00~17:30、参加費ひと世帯500円。場所は要問合せ）

※「にじの広場」と日曜町民乗馬会はLINEグループで詳細をお知らせしています。お気軽にお問い合わせ・ご参加ください。

久米島馬牧場080-6491-1950

住民活動

奨学金の貸付

意欲・能力のある学生を支援する為、入学支度金・修学資金を無利子で貸し付けする。奨学生は選考委員会で選考し、貸付終了後は償還金を回収する。

役場 教育課
予算：7,500千円



久米島ブッククラブ

本を通して繋がり、刺激し合い、学びの場となることを目的とした本を楽しむ会です。

主な活動として、読書会を開催します。読書会では、参加者が読んで面白かった本・感銘を受けた本・紹介したい本などについて自由に語りあいます。テーマや本を指定した読書会や、その他、本に関するイベントなども計画中です。気軽に楽しく本について語り合いませんか？



住民活動

地域スポーツボランティア

久米島の子供たちの可能性を伸ばすため、地域の方々の協力のもと野球、サッカー、陸上、空手などのスポーツ教室が開かれている。

住民活動

現代版組踊の実施

島の歴史や文化財を題材にした現代版組踊りを小中学生、高校生が参加し、公演を行うことにより、島に誇りを持ち、島に貢献する人材の育成に繋げる。また、公演を通して、歴史・文化への関心を高め、ふるさとの魅力を発信する。

役場 教育課
予算：5,010千円



電子図書館を通じた読書機会の提供

読書の機会が少ない本町の課題を解決するため、パソコンやタブレットなどインターネット端末等を使って、電子書籍をいつでも・どこでも借りて読むことができる電子図書館の導入を検討するための実証事業を実施する。

役場 教育課
予算：6,294千円

学習センター（町営塾）の運営・中学校支援員の配置

高校魅力化プロジェクトの柱のひとつである、町営塾の運営を行っている。また、中学校へ学習支援員を配置し、学習指導や授業外での自学自習の場の提供を行っている。

役場 企画財政課・教育課
予算：22,000千円



産業魅力向上プロジェクトの実施

町の最重要課題となっている人口減少対策の施策として、島内産業を活性化し、島内に魅力的な雇用を創出することで、移住・定住促進を図る。企業ブランディング、中核人材育成、合同リクルートサイト構築、地域資源を活用した創業・新事業活動支援、魅力拡販商談・名刺交換会（ビジネスマッチング）等を実施。



役場 商工観光課
予算：9,715千円

山里ゆんたく市場

無人の直売所から地域の人たちが資金を出し合い合同会社を2016年2月に設立。山里集落のお母さんたちが店を切り盛りする。

「ただ商品を買うためのお店ではなく、訪れた人が集まり、ゆんたくして交流できる場所にした」との思いが込められている。

丁寧に育てられた島野菜に美味しいお惣菜や手作りの小物などを販売している。

お問い合わせ 098-987-1301

住民活動



優良な雌牛の導入・飼育管理の支援

優良な繁殖雌牛を導入・飼育管理を支援し、肉用牛の増頭・改良を推進する。久米島牛のブランド化を図り、農家の経営安定・担い手の育成を目指す。

役場 産業振興課
予算：34,200千円



久米島倶楽部Jr.

島内のJr.世代のつながり作り

島内の若手経営者・事業者同士の横のつながり作りとさまざまな情報交換・意見交換を目的に、勉強会や那覇でのゴルフコンペなどを月1回開催。

住民活動



幼稚園児の預かり保育の運営

幼稚園入園者の就労している保護者を対象に、幼稚園終了後、18時まで預かり保育を行う。（夏休み期間は午前8時15分から午後6時まで。）

役場 教育課
予算：10,256千円

久米島 島ぐらしコンシェルジュ

Uターンキャンペーンなど仕事情報の発信

島内の求人情報を集めて、ホームページ『島ぐらしガイド』において一挙公開しています！

また、お盆に帰省する島出身者にも『島内の求人状況』を是非知って欲しいことから、昨年につき、今年も『Uターン応援キャンペーン』を実施しました。Uターン応援キャンペーンとは、日ごろ、島コンホームページに掲載している島内の求人情報を一挙掲載したチラシを作成し、広報くめじま8月号と共に島中に配布しました。『久米島には仕事が結構あるんだよ！』と島の人々全員で盛り上げていけたらと思います。

ドリ一部チャレンジ

久米島直売市

久米島で作っている良いものを知ってもらうため、主に島の人に向けて月1回久米島直売市を開催。

島の活性化に少しでも協力できるように、また島の良いものを島内だけでなく島外へも広めていきたいとの思いで続け、今年で4年目を迎える。また、チャレンジショップとして新しいことに挑戦する人たちを応援する場ともなっている。

住民活動



暮らす

子どもの健康増進

小学校5年生から高校3年生までの子どもたちを対象に、生活習慣病検診を実施。検診結果をもとに改善への支援・指導を行い、要医療対象者へは受診案内を行う。

役場 福祉課
予算：5,741千円

#Kumejammin

島内の異なる分野で活発に活動する20～30代の若者13人が、ジャンルを超えた連携を図り、島を活性化するイベントを企画・運営しようと結成。昨年度はダンス・音楽のイベントを開催し、今年も音楽ライブを企画。

住民活動

親子への支援

発達について不安がある等、支援を必要とする親や子どもへ、子育ての負担感を緩和し、安心して子育て・親育ちができるように、島外から臨床心理士を招いて療育や個別相談等支援を行う。

役場 福祉課
予算：2,802千円

議会改革チーム

平成30年度は以下のような活動をしています。

- 経済5団体との意見交換会（4月24日）
- ボランティア活動
 - ・ 公立久米島病院 草刈（6月議会終了後）
 - ・ イーフビーチゴミ拾い（9月議会終了後）
- 第1回久米島町議会 議会報告会・地域懇談会
6月21日 具志川改善センター
→9月14日 久米島町長へ地域からの要望書提出
- 第1回久米島町子ども議会
11月6日開催予定

ドリ一部チャレンジ



上下水道への接続の推進・整備

下水道施設への接続を推進し、生活排水等の海への流出による生活環境の悪化や、水産資源・観光資源の損失を防ぐ。

役場 水道課
予算：80,000千円



道路の維持管理

町内の道路の経年劣化による穴の補修や転落防止柵の設置等、緊急性の高い箇所から対応を行う。また、各字への集落内・外清掃の実施にかかる補助を行う。

役場 建設課
予算：6,062千円

障害者自立支援サービスの給付

自立支援サービスは、在宅で訪問により受けるものや、施設への入所・通所を利用するもの、また就労支援等、利用者の状態やニーズに応じて個別に給付される。車いす・補聴器などの補装具費支給もこれに含まれる。

役場 福祉課
予算：170,712千円

町民生活の負担軽減

〈航空運賃〉飛行機を利用する小児・身障者に対する割引。購入した航空券の種別により還付額は異なる。

〈フェリー運賃〉フェリーを片道のみ利用する大人・小人に対する還付。（対象：全町民、還付額：大人770円、小人615円）

役場 商工観光課
予算：5,816千円



くめしゅわ

第1、3月曜日の18:30～20:30に社会福祉協議会1階会議室で活動しています。各自が“手話”に関係するやりたいことを持ち寄り、皆で楽しみます。また球美の里や幼稚園・保育所、高齢者施設などを訪問し、手話歌や劇を披露しています。

“手話”を使っているいろいろな人たちとつながっていきたいです。

住民活動



青年団協議会

これからの久米島を担っていく青年が横の連携を密にし、島のために活動しています。各集落や独居老人宅、ビーチのクリーンアップ活動やエイサー祭りなどの町行事のサポート、保育所へのサンタクロース訪問など、さまざまな活動を行っています。若い力が減り、地域の結束力が落ちてきていると感じる。青年会が活動することで地域行事や伝統を継承し、地域に元気を与え、これ以上青年会が減らないように活動していきたいです。

住民活動

FMでのラジオ広報

行政の情報を親しみやすく、分かりやすくFMくめしまで放送することで、町民サービスの向上を図り、町政への関心を高める。また、災害発生時の緊急時における、速やかな情報発信体制の確保にもつなげる。

役場 総務課
予算：5,184千円



老いる

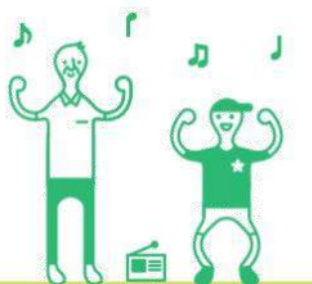
福志士会

元気なスタッフが、以下のような活動を行っています。

- 高齢者・障がい者の方への配パン（配食のパンバージョン）
- 公立病院への患者送迎
- ヘルパー事業
- 障がい者家族支援
- ゲートボールへの送迎
- 幼稚園送迎（町委託事業）
- 地域での体操教室（町委託事業）

ご利用に関しては、一度ご相談ください！

連絡先：098-985-7770



老人会での工芸指導

10年前に久米島にUターンした、西銘豊氏。趣味で行っていた焼き物を窯ごと移動し、島内の老人会にお皿やマグカップ、壺、シーサーなどの作り方を指導し、生きがいづくりに貢献している。

住民活動

久米島町の高齢化率 (2015年)

約26%

(4人に1人が65歳以上)

地域での認知症高齢者見守り

認知症に関する広報・啓発活動や、徘徊高齢者を早期に発見できる仕組みづくり、ボランティア等による見守りのための訪問等、地域での認知症高齢者の見守り体制づくりに取り組んでいる。

役場 福祉課
予算：1,591千円

在宅医療・介護連携の推進

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、在宅医療と介護の両方を提供するため、医療機関と介護事業所等の関係者の連携を推進する。

役場 福祉課
予算：6,471千円



久米島町社会福祉協議会 ふれあいサロン

閉じこもりがちな高齢者や障がい者の方々が、ゆんたくやレクリエーションなどを楽しむ場所として、「楽しく無理なく」「互いに助け合う」を目的に、地域の皆さんが自ら企画し、運営する仲間づくりをしています。

- 活動例：グランドゴルフ、遠足、カラオケ、お茶会（ゆんたく）、料理教室、体操、食事会、手工芸など
- 実地地区：山里、西銘、島尻、嘉手苅、儀間、上江洲、山城、比嘉、具志川、仲村渠、宇江城、兼城、大田、鳥島、真謝、銭田、仲地、仲泊、宇根、大原、真我里（21か所）

《ふれあいサロンで一緒にお手伝いして下さる方を大募集！！》
一緒におしゃべりしたり、何か作ったり、歌を歌ったり…
学生さんや、お子さんをお持ちのお母さんたち、地域の方とふれあいたい方、方言を勉強したい方など、大歓迎です。
詳細は久米島町社会福祉協議会まで！

連絡先：098-851-8335（担当：国吉）

次世代のために

適切な課税・徴収

住民税・所得税等、各税目における法律・条例等に基づく適正な課税・徴収を行い、納期内納税者との不公平感を適正処理し、徴収率向上に取り組む。

役場 税務課
予算：11,562千円

久米島ホテルの会

久米島には国の史跡、標高約310mの宇江城城跡があります。その周囲は豊かな森で、キクザトサワヘビの保護区があり、県立自然公園の特別地域になり、平成20年にはラムサール条約登録湿地に指定されました。

そして久米島には、幼虫時代に水中で生活する県指定天然記念物のクメジマボタルがすんでいて、ホテルやその周りの自然環境を学べる「久米島ホテル館」があります。私たちは、その「久米島ホテル館」をネイチャービジターセンターとして支援しながら、未来の地球環境の一端を担う久米島の山・川・海の自然環境を守るため、環境省の呼びかけに応え平成19年に子どもたちを中心に結成した「久米島ホタレンジャー」とともに、自然環境の保全と学びにつながるさまざまな楽しい活動を行っています。

ドリ一部チャレンジ



総合計画の推進

第2次久米島町総合計画に取り組むため、行政組織内を横断した「総合計画推進委員会」を設置した。効果的・効率的な事業の実施や、議会・町民との共働によるまちづくりを目指し、将来像に掲げる「夢つむぐ島」の実現に向けて取り組んでいる。

役場 企画財政課
予算：269千円



新規創業希望者への支援

新規創業希望者、創業5年未満の方に対するワンストップ相談窓口を設置し、創業・販路開拓セミナーや巡回相談を行い支援する。

役場 商工観光課
予算：2,717千円



久米島エネルギー勉強会

久米島エネルギー勉強会は、未来の久米島の「エネルギー自給率100%」を目標にした、久米島のエネルギーに関する情報共有などのための座談会形式の自主的な集まり（官民共同）です。エネルギーに興味がある方はどなたでも参加歓迎です。専門知識はいりません。小中高生の参加も大歓迎。

住民活動

チームつなぐ

個々で素敵な活動をしている久米島の人々。その人たちが出会ったらどんな未来が待っているのか。もっともっと魅力的な久米島になっていくはず！そんなわくわくした気持ちから始まったチームつなぐは、「人と人の想いをつなぐ」をテーマに、昨年11月に第1回久米島8500人の夢まつりを開催。また週1回ラジオ番組「ドリ一部チャレンジ」を放送。町民が久米島の今を知り、久米島の未来を自分事として考え築いていけたらと願い部活のように和気あいあいと楽しく活動しています。

ドリ一部チャレンジ

花苗や草木の提供

美しい景観をつくり、町民の美化意識の向上や地域に対する愛着を育むことを目的に、年間を通して花の苗を無料配布している。また、町主催行事での花文字、久米島マラソンの花プランターも育成。

役場 環境保全課
予算：6,715千円



文化財の管理

町内指定文化財の保存活用のため、適切な維持管理・整備等を行う。また、文化財について周知・学習できるよう文化財要覧の刊行やガイドマップの配布、解説版の設置等を行っている。

役場 博物館
予算：7,169千円



島を訪れる、島に帰る人たちへ

定住サポーターズ

島にいる人・来たばかりの人・これから来る人、みんなの交流を目的に以下の活動しています。

- みーしまんちゅの会
 - ①茶話会：毎月第2・4土曜の午後2時～4時、真謝の仲原家にて開催しているざっくばらんなおしゃべりの会。
 - ②ハルサー同好会：せっかくの島ぐらし、家庭菜園に挑戦したいけど一人じゃ無理～、という方向けの畑サークル。
 - ③島内の地域行事・イベントへの参加：まだ知り合いが少なく地域行事を観に行きづらいという移住者の方と、地域のイベントを観に行ったりします。（不定期）
- 島ぐらし応援団

「新しく来る移住者の力になりたい」と思って下さる皆さんが、移住相談の助っ人や、みーしまんちゅの会の運営サポートなどを行っています。

定住サポーターズは、移住者の方が悩んだ時に、心に寄り添えるような存在でありたいと思っています。

ドリー部チャレンジ

久米島ブロガーズ

久米島在住者ならではのリアルでマニアックな情報を、ブログを通じて島外に発信している人たち（ブロガー）のサークル。ブロガー同士の交流を楽しみながら、移住希望者への発信など町のためにもなる活動をしている。

- 毎月の共通テーマ記事投稿

毎月各自のブログで共通テーマに関する記事を書く。
- 久米島 島ぐらし認定ブロガー

「毎月のテーマ記事投稿」をしているなど認定基準を満たしたブロガーは、「久米島 島ぐらし認定ブロガー」として、「島ぐらしガイド」で紹介。

認定ブロガーは、随時募集中！！久米島でブログを書かれている方、久米島の紹介をしたい方、ブログのアクセス数を伸ばしたい方は、ぜひご参加下さい。

詳細は島ぐらしコンシェルジュ 担当石坂まで！

098-894-6488 info@shimagurashi.net

ドリー部チャレンジ

球美友結の会

久米島観光大使の大久保氏・森氏を中心に、2016年から毎年、東京で久米島ファンの交流イベントを開催。参加者50名から始まり、去年は80名、今年はずいに100名を達成。久米島好きを集め、観光などに貢献している。

住民活動



特産品の販路拡大・ブランド化

特産品の販路拡大を図るため、県内外で開催される物産展へ出店する事業所への支援を行う。外国語での特産品のパンフレット等を作成し、イメージアップや「久米島ブランド」としての販売拡大を図る。

役場 商工観光課
予算：10,230千円

棚田の保全・活用

仲地婦人会が、字仲地に残る棚田で6年前からもち米を栽培し、敬老会などでふるまっている。

住民活動



出逢いの機会づくり（結の会）

島内の独身者の出逢いの機会を創るため、バーベキューやカレーパーティー等のイベントを開催。島外から女性を招いてのイベントも企画。大切にしているのは、「自分たちも楽しいこと（笑）！」

ドリー部チャレンジ

真謝集落散策

島の中で最も袖の盛んな真謝は、歴史的な建造物だけでなく文化や習慣が現在の生活にも息づいています。長い歴史の中で、袖降りや農作業を通して育まれてきた“地域の人たち”こそが集落の魅力。こうした地域の宝について、今の暮らしの様子や地域に伝わる民話などをお話しながらお散歩します。

地元の方の参加も大歓迎！

また、他の集落でガイドをしてみたい！という方も募集しています。お問合せは久米島町観光協会まで。

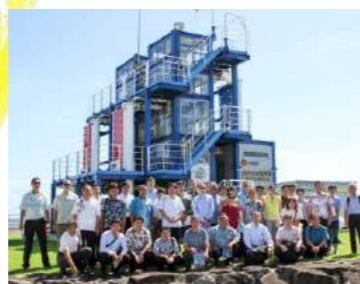
連絡先：098-896-7010

国際交流等の推進

ハワイ州ハワイ郡と2011年に姉妹都市提携を結び、現地民間企業との産業交流や、高校生の短期交換留学を行っている。

また2010年から、沖縄ハワイクリーンエネルギー協力協定の下「海洋エネルギー及び経済開発シンポジウム&ワークショップ」をハワイと久米島で毎年交互に開催し、ハワイと沖縄の政府、学術研究機関、ビジネス間の連携を進めている。

役場 プロジェクト推進課
予算：5,739千円



移住・定住・交流の推進

島ぐらしコンシェルジュを配置し、移住に必要な情報の収集・HP等での発信を行う。また、より良い久米島づくり・定住のサポートを住民の方々と連携しながら取り組む。

また、「久米島に移住はできないが、応援はする」という関係人口や、島を訪れる交流人口の増加を目指す。

役場 企画財政課
予算：12,850千円

